

2016年度以前入学／キャリアデザイン学部用 再履修ガイド

外国語科目の再履修について

前年度に、春学期科目（〇〇語-I）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語-II）を修得できなかった場合は秋学期科目を再履修してください。

なお、外国語科目の再履修方法は言語によって異なります。下記の表を参照してください。

1年次生は補講クラスの履修は不可です（1年次留級者は所属クラス授業を履修すること）。

※まずは春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。（秋学期科目のみの場合も必ず春学期初回授業前日までに仮登録をしてください）。

※忘れずに自分で履修登録を行ってください。

※補講クラスの登録番号は[こちら](#)から確認してください。

再履修する科目名		再履修方法
英語	英語1-I・II 英語2-I・II	1つの科目につき、下記いずれか1つを選択する。 <ul style="list-style-type: none"> 「4群選択外国語」（下表A参照）を英語必修科目に充当。 「補講英語1・2-I/II」を履修。 学部関連科目の国際コミュニケーション語学（英語）を必修外国語科目（英語）として履修。
諸外国語	ドイツ語1-I・II ドイツ語2-I・II フランス語1-I・II フランス語2-I・II ロシア語1-I・II ロシア語2-I・II スペイン語1-I・II スペイン語2-I・II	1つの科目につき、下記いずれか1つを選択する。 <ul style="list-style-type: none"> 1年次生のクラス授業を履修（自分のクラスでなくても可）。 (例) 2年A組の学生が、ドイツ語1-I（春学期）は1年P組の授業を履修し、ドイツ語2-II（秋学期）は1年A組の授業を履修する。 〇〇語補講を履修。
	中国語1-I・II 中国語2-I・II	次ページ「中国語1-I/II・中国語2-I/IIの再履修の方法について」を参照して履修。
	朝鮮語1-I・II 朝鮮語2-I・II	1年次生のクラス授業を履修。 ※自分のクラスでなくてもよいが、朝鮮語1と朝鮮語2は同じクラスの授業を履修すること。 (例) 2年A組の学生が、朝鮮語1-I（春学期）の再履修で1年P組の授業を履修する場合、朝鮮語2-I（春学期）も1年P組の授業を履修する。

表A 4群選択外国語

Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-I/II
Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-I/II
English for Study Abroad I/II
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-I/II
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-I/II
Practical English（英語検定試験対策）A-I/II
Practical English（英語検定試験対策）B-I/II

<中国語1-I/II・中国語2-I/IIの再履修の方法について>

「中国語1-I」「中国語1-II」「中国語2-I」「中国語2-II」のいずれかを再履修する場合は、以下のパターンにしたがって受講してください。

中国語1-Iと中国語2-Iはリレー方式で授業を行うため、このパターンに合わない方法で受講すると、試験などで不利になることがあります。

■中国語の単位修得状況と再履修パターンの対照表

自分の単位修得状況が以下のどれに当てはまるかをよく確認して、A~Hのうち該当するパターンで受講してください。

↓たて方向に見て、自分がどのパターンなのか確認してください。↓

「-」は単位修得済み(合格)、「再履」は単位未修得(不合格=再履修)

中国語1-I(春学期)	-	-	-	再履	-	再履	-	再履	-	再履	再履	再履	再履	-	再履
中国語1-II(秋学期)	-	-	再履	-	-	再履	再履	-	再履	-	再履	再履	-	再履	再履
中国語2-I(春学期)	-	再履	-	-	再履	-	再履	-	-	再履	再履	-	再履	再履	再履
中国語2-II(秋学期)	再履	-	-	-	再履	-	-	再履	再履	-	-	再履	再履	再履	再履
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
再履修のパターン→	A	B	A	B	C	C	C	C	D	E	F	G	F	G	H

■再履修の方法(A~Hパターン)

A	<p>秋学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講 秋学期に『中国語補講』を受講する。履修登録は、春学期初回授業に出席し受講許可を得た授業について、修得したい科目に該当する。◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号で登録すること。</p>
B	<p>春学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講 春学期に『中国語補講』を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号で登録すること。</p>
C	<p>春学期、秋学期ともに『中国語補講※学部指定あり』を受講 春学期、秋学期ともに『中国語補講』を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号で登録すること。</p>
D	<p>秋学期にクラス授業を受講 クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1-II」と「中国語2-II」の組み合わせを選び、受講する(自分のクラスでなくても可)。 例) 1年A~D組の「中国語1-II」を受講する場合は「中国語2-II」も1年A~D組の授業を受講する</p>
E	<p>春学期にクラス授業を受講 クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1-I」と「中国語2-I」の組み合わせを選び、受講する(自分の学部・クラスでなくても可)。 例) 1年A~D組の「中国語1-I」を受講する場合は「中国語2-I」も1年A~D組の授業を受講する</p>
F	<p>春学期はクラス授業を受講、秋学期は『中国語補講※学部指定あり』を受講 <春学期>クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1-I」と「中国語2-I」の組み合わせを選び、受講する(自分のクラスでなくても可)。 例) 1年A~F組の「中国語1-I」を受講する場合は「中国語2-I」も1年A~F組の授業を受講する。 <秋学期>「中国語補講」を受講する。履修登録は、春学期初回授業に出席し受講許可を得た授業について、修得したい科目に◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号で登録すること。</p>
G	<p>春学期は『中国語補講※学部指定あり』を受講、秋学期はクラス授業を受講 <春学期>「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号で登録すること。 <秋学期>クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1-II」と「中国語2-II」の組み合わせを選び、受講する(自分のクラスでなくても可)。 例) 1年A~D組の「中国語1-II」を受講する場合は「中国語2-II」も1年A~D組の授業を受講する</p>
H	<p>春・秋学期ともにクラス授業を受講 <春学期>クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1-I」と「中国語2-I」の組み合わせを選び、受講する(自分のクラスでなくても可)。 例) 1年A~D組の「中国語1-I」を受講する場合は「中国語2-I」も1年A~D組の授業を受講する <秋学期>クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1-II」と「中国語2-II」を選び、受講する(自分のクラスでなくても可)。 例) 1年A~D組の「中国語1-II」を受講する場合は「中国語2-II」も1年A~D組の授業を受講する</p>